

資料

# 平成 25 年度 事業報告書

〔 平成 25 年 4 月 1 日から  
平成 26 年 3 月 31 日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

# 平成 25 年度 事業 報告 書

## 1 概要

当社は、下水道公社定款に基づき、流域下水道及び流域関連公共下水道の維持管理に関する業務のほか、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究を行い、県及び市町の下水道事業に協力し、もって県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与し、公衆衛生の向上及び環境保全を目的として事業を行いました。

事業の実施にあたっては、第 4 期の公益財団法人神奈川県下水道公社経営改善計画に基づき、効率的な運営に努めると共に、より一層の経費の削減に取り組みました。

## 2 受託事業

神奈川県が設置する流域下水道の処理施設の運転操作等維持管理業務及び流域関連公共下水道の水質分析等技術的業務を受託し、創意と工夫をもって主体的に業務に取り組む、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

### (1) 流域下水道の下水処理等維持管理事業

神奈川県から相模川及び酒匂川流域下水道の下水処理等維持管理業務を受託し、流域関連市町からの流入下水を適正に処理し、下水処理場施設、幹線管渠及び関連するポンプ場など、処理場施設の維持管理を行うほか、県民に下水道の役割などを理解していただくための広報活動などを行いました。

#### ア 主な維持管理施設等の概要

平成 25 年度に県から受託した主な下水道維持管理施設等は、次表のとおりです。

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

処理場 施設・設備	相模川流域下水道		酒匂川流域下水道	
	四之宮	柳 島	酒 匂	扇 町
敷地面積 (ha)	26.9	19.6	9.8	7.0
水処理施設 (系列数) (m <sup>3</sup> )	6 系列	9 系列	3 系列	2 系列
施設能力 (日最大) (日平均流入量)	322,800 (232,430)	539,100 (406,610)	108,000 (52,700)	56,480 (45,220)

汚泥脱水設備	ベルト 6 台 遠心 2 台 スクリー1 台	ベルト 1 台 遠心 3 台 ロータリー1 台 スクリー2 台	スクリー 4 台	ベルト 2 台
汚泥焼却設備 (日最大能力 計)	3 基 ( 280 t/日)	4 基 ( 660 t/日)	2 基 ( 90 t/日)	2 基 ( 60 t/日)
管渠 (流域幹線)	37,960m	89,470 m	26,920 m	19,340 m
ポンプ場	2 箇所	6 箇所	1 箇所	—
上部利用施設	四之宮ふれあい 広場 5.25 ha	柳島しおさい 広場 7.0 ha	酒 匂 きらり 広場 1.3 ha	扇町しらさぎ 広場 1.2 ha

(注) 汚泥脱水設備の「ベルト」はベルトプレス、「スクリー」はスクリープレス、「ロータリー」はロータリープレス

## イ 下水処理

### (ア) 流入下水量

平成 25 年度の相模川及び酒匂川流域下水道の流入下水量は、次表のとおりです。

流 域	下水処理場 (管理センター)	流入下水量 (m <sup>3</sup> )		前年対比 (%) (A)/(B)
		H25 実績 (A)	H24 実績 (B)	
相模川	四之宮	84,835,130 (232,430)	88,494,840 (242,450)	△3,659,710 (95.9%)
	柳 島	148,413,040 (406,610)	145,787,690 (399,420)	2,625,350 (101.8%)
	相模川計	233,248,170 (639,040)	234,282,530 (641,870)	△1,034,360 (99.6%)
酒匂川	酒 匂	19,235,430 (52,700)	18,532,340 (50,770)	703,090 (103.8%)
	扇 町	16,504,720 (45,220)	14,745,230 (40,400)	1,759,490 (111.9%)
	酒匂川計	35,740,150 (97,920)	33,277,570 (91,170)	2,462,580 (107.4%)
合 計		268,988,320 (736,960)	267,560,100 (733,040)	1,428,220 (100.5%)

(注) 流入下水量は年間の数量で、( ) 内の数字は日平均水量を示す。

(イ) 流入水及び放流水の水質測定結果

流入下水を処理するにあたっては、標準活性汚泥法により適切に処理し、全て法で定める排水基準値以内で処理することができました。

① 相模川流域下水道水質測定結果

主な項目		処理場		柳島		水質汚濁防止法 排水基準 (許容限度)
		四之宮	柳島	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	170	3.6	180	4.1	四之宮 20 (25) 柳島 (25)
	最大	250	9.8	230	8.0	
	最小	120	1.4	110	2.2	
COD (mg/L)	平均	94	9.5	100	9.0	四之宮 (25) 柳島 20 (25)
	最大	130	12	130	11	
	最小	55	7.0	70	5.0	
S S (mg/L)	平均	181	2.6	205	3.7	50 (70)
	最大	244	9.8	232	8.6	
	最小	94	1.0未満	154	1.0未満	
P H	平均	7.3	6.6	7.3	6.6	5.8~8.6
	最大	7.7	6.8	7.7	6.9	
	最小	6.9	6.3	6.9	6.2	
大腸菌群数 (個/cm)	平均	73万	60	69万	150	(3,000)
	最大	190万	560	1,200万	590	
	最小	13万	2	11万	17	

(注) 1 BODは生物化学的酸素要求量、CODは化学的酸素要求量、SSは浮遊物質  
量、PHは水素イオン濃度(水素指数)。

2 流入水及び放流水の数値は、年平均値を示す。

3 排水基準は、水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例  
の基準値で、( )は、最大値を示す。

② 酒匂川流域下水道水質測定結果

主な項目		酒匂		扇町		水質汚濁防止法 排水基準 (許容限度)
		流入水	放流水	流入水	放流水	
BOD (mg/L)	平均	150	3.5	120	4.2	20 (25)
	最大	180	9.0	170	8.0	
	最小	100	1.8	88	2.3	
COD (mg/L)	平均	88	10	90	12	(25)
	最大	130	13	110	16	
	最小	54	7.6	68	7.8	
S S (mg/L)	平均	168	2.7	153	3.8	50 (70)
	最大	272	4.2	194	8.2	
	最小	122	1.2	110	1.6	
P H	平均	7.5	7.0	7.4	7.0	5.8~8.6
	最大	7.9	7.1	7.7	7.1	
	最小	7.1	6.6	7.2	6.7	
大腸菌群数 (個/cm <sup>2</sup> )	平均	82万	34	94万	500	(3,000)
	最大	2,400万	460	740万	1,400	
	最小	9万	1未満	32万	48	

(注) 相模川流域下水道の注記に同じ

ウ 汚泥処理

(ア) 汚泥等発生量

発生した汚泥等は、全量焼却処理しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	汚泥等発生量 (t/年)		前年対比 (%) (A)/(B)
		H25 実績 (A)	H24 実績 (B)	
相模川	四之宮	53,347	57,689	△4,342 (92.5%)
	柳島	120,188	115,190	4,998 (104.3%)
	相模川計	173,535	172,879	656 (100.4%)
酒匂川	酒匂	18,788	18,502	286 (101.5%)
	扇町	9,652	8,505	1,147 (113.5%)
	酒匂川計	28,440	27,007	1,433 (105.3%)
合計		201,975	199,886	2,089 (101.0%)

(イ) 焼却灰等処分量

焼却処理により発生した焼却灰等は、発生量を全量処分しました。

また、平成23年度に保管した焼却灰等の一部も処分しました。

流域	下水処理場 (管理センター)	焼却灰等処分量 (t/年)		前年対比 (%) (A)/(B)
		H25 実績 (A)	H24 実績 (B)	
相模川	四之宮	1,916	1,719	197 (111.5%)
	柳島	4,744	4,411	333 (107.5%)
	相模川計	6,660	6,130	530 (108.6%)
酒匂川	酒匂	496	1,046	△550 (47.4%)
	扇町	210	333	△123 (63.1%)
	酒匂川計	706	1,379	△673 (51.2%)
合計		7,366 (①3,667 ②2,443 ③1,256)	7,509 (①4,192 ②2,525 ③792)	△143 (98.1%)

(注) 合計欄の( )は合計数量の内訳で、①は乾灰、②は加湿灰、③は焼却沈砂

## エ 放射能対策

放流水や焼却灰等（保管中の灰も含む）の放射能濃度や上部利用施設、処理場敷地境界線等での放射線量の測定を実施し、状況の把握に努めるとともに適正な管理を行いました。

また、保管中の焼却灰等の減量に努めました。

## オ 機器設備の点検・補修

処理場に設置されている機器設備は、当公社の精密点検・設備補修基準に基づき点検・補修工事を行い、効率的で緻密な管理を行いました。

## カ 環境対策

下水道の役割を果たすため、良好な放流水質の確保、汚泥焼却による減量化と灰の資源化、処理場周辺の臭気調査など環境保護に努めると共に下水処理業務に従事する従業員の作業環境の向上に努めました。

### （ア）環境保護

#### ① 良好な放流水質の確保

より良好な放流水質を確保し、公共用水域の水質保全に努めました。

また、人体に影響を及ぼす恐れのあるクリプトスポリジウムについて調査しました。

調査の結果、流入水、放流水共に含まれていないことが確認されました。

#### ② 汚泥焼却による減量化

下水汚泥は全量焼却して汚泥量の減量化に努めました。

#### ③ 処理場周辺臭気調査

処理場周辺住民の生活環境を維持するため、処理場敷地境界線における臭気調査を実施し、発生する臭気の監視強化に努めました。

### <敷地境界等臭気調査結果>

処 理 場 (調査地点数)	臭気指数 (最小～最大)	悪臭防止法 規制基準値
四之宮管理センター (7地点)	10未満～11	15
柳島管理センター (4地点)	10未満	15
酒匂管理センター (4地点)	10未満	15
扇町管理センター (4地点)	10未満	15

(注) 臭気指数の「10未満」は定量下限値未満を表す。

(イ) 作業環境の向上

① 水質実験室作業環境測定

水質分析時に有機溶剤を取り扱うことから実験室内の作業環境について測定しました。

測定の結果は全て「適切」であり、良好な作業環境が維持されていました。

② 焼却施設作業環境測定

焼却炉点検作業や焼却灰の搬出作業を行う者がダイオキシン類にばく露することを防止するため、ダイオキシン類に係る作業環境について測定しました。

測定結果については当社の「ダイオキシン類対策委員会」で検討し、適正な保護具を選定するなどの対応策を講じました。

キ 広報

① 施設見学の案内

処理場に訪れた施設見学者に対し、当社が作成したパワーポイントを活用して神奈川県の流れ下水道の現況や下水道の役割などを説明し、また、処理場施設を見ていただくなど、下水道に関する普及啓発に努めました。

今後も当社ホームページに施設見学の案内を掲載し、また、下水道出張教室や市町開催の環境イベントなどでPRするなど、より多くの県民に見学していただけるように努めます。

<処理場施設見学者の内訳>

(人)

管理センター	行政 機関	学生		一般 県民	団体	計
		小学生	その他			
四之宮	136 (102)	141 (178)	100 (18)	22 (200)	104 (5)	503 (503)
柳島	232 (69)	1,169 (774)	0 (365)	162 (6)	0 (157)	1,563 (1,371)
酒匂	41 (64)	242 (108)	12 (23)	25 (47)	0 (0)	320 (242)
扇町	0 (79)	7 (85)	21 (10)	4 (24)	0 (11)	32 (209)
合計	409 (314)	1,559 (1,145)	133 (416)	213 (277)	104 (173)	2,418 (2,325)

(注) ( ) は、前年度の見学者数

② 「下水道ふれあいまつり」の開催

処理場内の上部利用施設を活用して、地元住民の演奏・踊り、子供が遊べるゲーム、下水道学習室や処理場施設見学などを行い、県民の下水道に関する理解と関心を深め、下水道に関する知識の普及啓発を図る目的で開催しました。

開催にあたっては、気候が良い10月としましたが、平成25年度は雨天となり来場者は減少してしまいましたが、自治会へのPRやスタンプラリーの導入、出演団体の公募等、多くの方が来場していただけるよう様々な取り組みを行いました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成25年10月26日(土)		来場者計
開催場所	相模川流域 四之宮管理センター (四之宮ふれあい広場)	酒匂川流域 扇町管理センター (扇町しらさぎ広場)	
来場者数	215人 (柳島:1,503人)	266人 (酒匂:940人)	481人 (2,443人)

(注) 来場者数の( )は、前年度の実績

③ パンフレット等の作成・配布

県民の下水道に関する理解を深めるため、下水道のしくみや情報を分かりやすくまとめたパンフレットや広報紙を作成、配付しました。

パンフレット等の名称	作成部数	主な配布先
進め!下水道探検隊	43,000	県、流域関連市町及び小学校
かながわの流域下水道	10,000	県、流域関連市町及び小学校
下水道だより「きらめき」	30,000	県、流域関連市町及び小学校

④ ホームページ

処理場の維持管理に関する様々な情報について情報提供しました。

<主なメニューの内容>

- ・下水道の維持管理(処理場の運転管理、下水道管渠の維持管理、水質分析結果等)
- ・下水道のしくみ(下水道の役割・しくみ、下水道使用上のお願ひ、下水道Q&A等)
- ・イベント(下水道ふれあいまつり、下水道作品コンクール、下水道教室等)
- ・お知らせ(広場の紹介、下水処理場の紹介、下水処理場施設見学の申込等)
- ・公社情報(公社の情報提供資料)
- ・入札情報(入札予定、入札公告、入札結果、入札要領等、積算資料等、様式等)

## ク 上部利用施設利用状況

各処理場の水処理施設上部に設置されている上部利用施設の利用状況は次のとおりでした。

施設名	処理場	利用者数(人)	備考
四之宮ふれあい広場	四之宮管理センター	53,469 (51,857)	多目的広場、テニスコート(6面)、フットサルコート(1面) ほか
柳島しおさい広場	柳島管理センター	65,499 (67,351)	多目的広場、テニスコート(4面)、少年サッカーコート(1面)、親水池 ほか
酒匂きらり広場	酒匂管理センター	20,857 (20,658)	多目的広場、遊び広場、お花見広場、噴水池 ほか
扇町しらさぎ広場	扇町管理センター	28,495 (31,366)	芝生広場、ちびっこ広場、遊具広場、軽運動広場、噴水池 ほか
計		168,320 (171,232)	

(注) ( ) は、前年度の利用者数

## ケ 水質規制

### ① 水質規制担当者特別研修会の開催

流域関連市町が行う事業場の監視・指導に関する知識・技術の向上等を目的として、事業場排水の水質規制を担当している職員を対象として研修会を開催しました。

#### <水質規制担当者特別研修会>

開催日	平成 25 年 11 月 26 日 (火)
開催場所	四之宮管理センター
対象者	県及び流域関連市町の水質規制担当職員
受講者数	15 名
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講義 <ul style="list-style-type: none"> <li>①厚木市における水質指導の一例</li> <li>②横浜市における新規規制項目 1,4-ジオキサン追加に伴う対応について</li> </ul> </li> <li>○分析実習 <ul style="list-style-type: none"> <li>重金属、VOC、ヨウ素消費量分析体験</li> </ul> </li> </ul>

### ② パンフレットの作成・配布

公共下水道を使用する事業者向けに、水質基準や届出等をわかりやすく説明したパンフレットを作成し、流域関連市町に配布しました。

## (2) 下水道の水質分析等受託事業

相模川及び酒匂川流域に関連する市町から特定事業場の下水の水質分析を受託し、特定事業場の排水の採水及び水質分析を行いました。

また、市町が実施する特定事業場等の監視指導への協力や追加分析等の技術的支援を行いました。

### <特定事業場等水質調査業務受託概要>

区分 流域	受託市町数			調査箇所数			水質分析数		
	実績 A	前年 B	差異 A-B	実績 A	前年 B	差異 A-B	実績 A	前年 B	差異 A-B
相模川流域 関連市町	9	9	0	149	146	3	10,731	10,787	△56
酒匂川流域 関連市町	6	5	1	42	39	3	3,965	3,916	49
計	15	14	1	191	185	6	14,696	14,703	△7

## 3 自主事業

当社は、広く県民に下水道の役割や下水道の仕組み等下水道に関する知識の向上を図り、また、下水処理施設の維持管理における技術的な調査研究を行い、下水道維持管理コストの削減や県が行う下水道施設の建設・改築更新への助言・提言を行うなど、下水道事業の推進に協力し、県民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与するため、次の事業を行いました。

### (1) 下水道知識普及啓発事業

広く県民に、下水道の役割や下水道の仕組みなど、下水道に関する知識の普及啓発を目的として、次の事業を行いました。

#### ア 「下水道ふれあいまつり」の開催 (P. 9 キ広報の②再掲)

処理場内の上部利用施設を活用して、地元住民の演奏・踊り、子供が遊べるゲーム、下水道学習室や処理場施設見学などを行い、県民の下水道に関する理解と関心を深め、下水道に関する知識の普及啓発を図る目的で開催しました。

開催にあたっては、気候が良い10月としましたが、平成25年度は雨天となり来場者は減少してしまいましたが、自治会へのPRやスタンプラリーの導入、出演団体の公募等、多くの方が来場していただけるよう様々な取組みを行いました。

<下水道ふれあいまつり開催結果>

開催年月日	平成 25 年 10 月 26 日 (土)		来場者計
開催場所	相模川流域 四之宮管理センター (四之宮ふれあい広場)	酒匂川流域 扇町管理センター (扇町しらさぎ広場)	
来場者数	215 人 (柳島：1,503 人)	266 人 (酒匂：940 人)	481 人 (2,443 人)

(注) 来場者数の ( ) は、前年度の実績

イ 下水道作品コンクールの実施

将来を担う子供達に下水道に対する関心を深めることを目的として、流域関連 21 市町の小学校 4 年生を対象として、作文、ポスター、書道の作品を募集するコンクールを実施しました。

応募作品は、第三者機関による公正な審査を経て優秀作品を選出し、入賞者には表彰式を開催(平成 25 年 12 月 21 日(土)厚木市文化会館)して表彰しました。

今後は、作品を募集する際にコンクールの主旨、目的のほか、過去の優秀作品や表彰式の写真などを添えて各市町の小学校へ PR を継続するとともに、さらに募集期間の延長をするなど、より多くの作品に応募していただけるよう努めます。

<作品応募・入賞数>

区分	作文	ポスター	書道	計	備考
応募数	91 (136)	793 (1,398)	3,621 (3,223)	4,505 (4,757)	参加学校数：181 (184) 参加市町数：21 (21)
入賞数	10 (10)	20 (20)	40 (40)	70 (70)	

(注) ( ) は、前年度の実績数

ウ 下水道担当職員研修会の実施

県及び市町村の下水道事業を所管する担当職員を対象に、下水道に関する幅広い知識の修得を目的として、次の研修会を実施しました。

<下水道担当職員研修会概要>

研修会名	開催年月日 (開催場所)	対象者 (受講者数)	研修概要
一般 コース	平成 25 年 7 月 19 日 (柳島管理センター)	下水道に関する 基本的な知識を 希望する職員 ( 64 人 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道法と関係法規</li> <li>・下水処理場の仕組みと水質管理</li> <li>・処理場施設見学</li> </ul>
専門技術 コース	平成 25 年 12 月 13 日 (下水道技術実習センター: 東京都江東区新砂 3-9-1)	下水道に関する 専門的な知識を 希望する職員 ( 27 人 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道技術実習センター内の施設 (モデル) を使用しての体験研修</li> </ul>
管理者 コース	平成 25 年 11 月 25 日 (四之宮管理センター)	下水道を所管する 管理職員 ( 56 人 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下水道施設の耐震指針類の改定と施設の老朽化対策について</li> <li>・災害時の対応について (災害時支援関係)</li> <li>・調査研究発表</li> </ul>

エ 下水道教室の実施

① 下水道出張教室

当公社職員が流域関連市町の小学校へ出向き、小学 4 年生の授業の中で、下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、子供達が顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察する「下水道出張教室」を実施しました。

- 実施学校数：20 校 [50 クラス、1,586 人]  
(前年度：19 校 [52 クラス、1,617 人])

② 親子下水道教室

流域関連市町に在住する方を対象として、親子で下水処理場へ来ていただき、当公社職員が下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察したり、水の汚れ具合を簡単に見分ける簡易的な水質実験を行い、実際に下水処理場施設を見学していただく「親子下水道教室」を実施しました。

平成 26 年度は、事業名称を「夏休み下水道教室」と変更して実施します。

<親子下水道教室実施結果>

開催場所	実施日	参加募集対象者	参加者数
相模川流域 (柳島)	平成 25 年 7 月 27 日	相模川流域の小学 4 年 生と保護者 (家族)	60 人 (23 組) (前年: 四之宮 60 人)
酒匂川流域 (酒匂)	平成 25 年 8 月 3 日	酒匂川流域の小学 4 年 生と保護者 (家族)	50 人 (18 組) (前年: 扇町 40 人)

## オ 市町主催の環境イベントへの参加

流域関連市町が主催する環境等に関するイベントに当社が参加し、来場者に下水道の果たす役割や下水道の仕組みなどを説明すると共に、顕微鏡で汚れた水をきれいにする微生物を観察していただき、環境に対して下水道が果たす役割などについてPRしました。

### <市町環境イベント参加結果>

主催	イベント名	開催日	イベント来場者数
伊勢原市	いせはら環境展	平成 25 年 5 月 11 日 ～ 12 日	991 人 (約 15,000 人)
南足柄市	環境フェア	平成 25 年 6 月 22 日 (6/19～22)	212 人 (1,215 人)
相模原市	さがみはら環境まつり	平成 25 年 6 月 30 日	309 人 (約 3,000 人)
寒川町	せいかつと水環境展	平成 25 年 8 月 29 日 (8/29～31)	34 人 (72 人)
秦野市	秦野市市民の日	平成 25 年 11 月 3 日	443 人 (約 100,000 人)
松田町	まつだ産業まつり	平成 25 年 11 月 3 日	381 人 (約 6,500 人)
大井町	大井町環境展	平成 25 年 11 月 10 日	212 人 (約 1,800 人)
愛川町	環境フェスタ	平成 25 年 11 月 24 日	325 人 (約 1,000 人)
合計 (4 市 4 町)			2,907 人 (約 129,000 人)
※前年度は、3 市 2 町で実施			

(注) イベント来場者数の ( ) は、主催者発表の人数

## (2) 汚水・汚泥処理技術調査研究事業

下水処理場施設の維持管理を行う上で発生する様々な技術的課題事例を捉え、当社職員がこれまで蓄積してきた豊富な経験や専門的な知識に基づき、下水道維持管理コストを削減するノウハウや施設の改善策などに資するテーマについて調査研究を行いました。

調査研究の研究成果については、調査研究報告書を作成して結果をまとめ、研究成果を公表するとともに、様々な研究発表会で発表しました。

## ア 調査研究実施概要

平成 25 年度に行った調査研究のうち、次の 3 項目について研究報告をまとめました。

- ① 汚泥処理返流水から発生する硫化水素による施設への影響について
- ② 四之宮せせらぎの森における生態系の実態調査と管理手法について
- ③ 相模川汚泥貯留地浸出液の経年変化と下水道排水への管理手法について

### <調査研究結果の概要>

- ① 汚泥処理返流水から発生する硫化水素による施設への影響について

実施所属	調査等の概要	効果等
四之宮管理センター	汚泥処理施設の返流水から発生する硫化水素の濃度を測定し、施設への腐食の影響について調査し、今後の対策について検討を行った。	硫化水素は、重力濃縮槽の分離液（返流水）から多く発生しており、施設の腐食に大きく影響していることが分かった。 この対策として、ポリ硫酸第二鉄等の薬剤の添加や返流水の返流先の分散化などが有効であると考えられ、この結果を県に提案した。

- ② 四之宮せせらぎの森における生態系の実態調査と管理手法について

実施所属	調査等の概要	効果等
四之宮管理センター	四之宮せせらぎの森の水辺には多様な水生生物が確認されていることから、生態系の実態調査を行い、生物相の保全のための適正な管理方法について検討を行った。	生態系の実態調査を行ったところ、上・中流の池では年間を通して在来種のヤゴやメダカ等が生息していた。 また、下流の池では外来種のアメリカザリガニが繁殖し優占していた。 生物相を保全するためには、生息している生物の住処を確保するための池周辺の除草作業の削減、生物を捕食してしまうザリガニの駆除が有効であることが分かった。

③ 相模川汚泥貯留地浸出液の経年変化と下水道排水への管理手法について

実施所属	調査等の概要	効果等
水質課	<p>相模川汚泥貯留地の浸出液を公共下水道に接続し排除するにあたり、過去の調査からフェノール類の濃度が下水道法の基準を超過する場合がありますため、希釈して排除することになった。</p> <p>フェノール類は、降雨等の影響により濃度変動するため、現場で濃度を把握し、その測定値から希釈倍率を決めて、フェノール類の濃度を適正に管理する方法の検討を行った。</p>	<p>現場における測定方法について検討した結果、デジタルパックテストが、濃度の把握に適していることが分かった。</p> <p>そこで、濃度変動に合わせて希釈倍率を変えることにより、一定の倍率で希釈する方法に比べて、年間約 300 万円の公共下水道使用料の削減が見込まれる結果となった。</p>

イ 研究発表

(ア) 研究発表

平成 25 年度に行った調査研究発表は、次のとおりでした。

<発表会：第 50 回下水道研究発表会>

主催	実施日	開催場所	発表テーマ
(公社) 日本 下水道協会	平成 25 年 7 月 31 日	東京ビックサイト 会議棟 (東京都江東区)	・相模川流域左岸処理場における 汚泥処理施設の検証
	平成 25 年 8 月 1 日		・反応タンクにおける散気筒の更 新周期の検討

<発表会：第 16 回県土整備技術発表会>

主催	実施日	開催場所	発表テーマ
神奈川県 県土整備局	平成 26 年 1 月 9 日	神奈川県庁本庁舎 3 階 大会議場 (横浜市中区)	反応タンクにおける散気設備の 更新時期の検討

(イ) 研究報告書の作成・配布

研究成果については調査研究報告書を作成し、関係機関に配布すると共に  
公社内情報提供コーナーに備え置き、一般県民に情報提供しています。

<調査研究報告書>

名 称	作成部数	主 な 配 布 先
調査研究報告書	110	県、流域関連市町、全国公社

<管理部門>

1 職員の状況

(平成26年3月31日現在)

組 織	長の氏名	構 成 職 員 数					
		事務	土木	機械	電気	化学	計
総 務 部 長	若山廣文					1	1
業 務 部 長	—						0
総 務 課 長	田代秀行	6				2	8
企 画 課 長	(田代秀行)	1	1		1		3
業 務 課 長	笠原俊男		2	1	1	1	5
水 質 課 長	川島由美子					8	8
四之宮管理センター所長	海野 淳			4	3	2	9
柳島管理センター所長	川原俊彦		1	3	3	4	11
酒匂管理センター所長	今永英二		2	1	1	2	6
扇町管理センター 所長補佐兼所長事務代理	渡辺俊一			1	1	3	5
合 計		7	6	10	10	23	56

(注) 構成職員には非常勤職員を除く。

2 役員及び評議員の状況

ア 役員数

(平成26年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
理 事 長	1	—	1
常 務 理 事	2	—	2
理 事	—	6	6
監 事	—	2	2
計	3	8	11

イ 評議員数

(平成26年3月31日現在)

役 職 名	常 勤	非常勤	計
評 議 員	—	9	9

ウ 役員一覧表

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	常勤・非常勤の別	備 考
理 事 長	小 野 義 博	常 勤	
常 務 理 事	若 山 廣 文	〃	
〃	木 下 幸 夫	〃	
理 事	櫛 田 正 夫	非 常 勤	厚木市 河川みどり部長
〃	植 原 尊 久	〃	海老名市 建設部長
〃	石 川 昇 一	〃	南足柄市 都市経済部長
〃	金 子 淳	〃	綾瀬市 都市建設部長
〃	露 木 均	〃	大井町 生活環境課長
〃	芳 山 忠	〃	開成町 まちづくり部長
監 事	小 林 明	〃	伊勢原市 土木部参事 (兼) 下水道業務課長
〃	猪 鼻 久 義	〃	公 認 会 計 士

エ 評議員一覧表

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	常勤・非常勤の別	備考
評議員	齊藤進	非常勤	産業能率大学 情報マネジメント学部教授
〃	石川智康	〃	技術士(上下水道部門) 石川技術士設計事務所所長
〃	佐藤弘之	〃	相模原市 都市建設局 土木部参事
〃	石田晃一	〃	平塚市 土木部長
〃	大野速雄	〃	小田原市 副市長
〃	塩崎威	〃	茅ヶ崎市 下水道河川部長
〃	萩原勝治	〃	神奈川県 湘南地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	高橋克幸	〃	神奈川県 県西地域県政総合 センター副所長(兼)総務部長
〃	三枝薫	〃	神奈川県 県土整備局 河川下水道部 下水道課長

### 3 理事会開催状況

#### <第1回理事会>

- 日 時 : 平成 25 年 6 月 10 日 (月)  
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)  
出席者数 : 理事 6 人 監事 2 人  
議 事 : (第 1 号議案) 平成 24 年度事業報告書及び決算報告書について  
(第 2 号議案) 評議員会の招集について  
報告事項 : ・平成 24 年度第 3 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行  
状況報告  
・平成 24 年度経営改善計画実績状況報告書

#### <第2回理事会>

- 日 時 : 平成 25 年 6 月 26 日 (水)  
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)  
出席者数 : 理事 8 人 監事 1 人  
議 事 : (第 1 号議案) 理事の役職等の選出について  
(第 2 号議案) 常勤の理事に支給する報酬月額について  
報告事項 : ・平成 25 年度事業計画書及び収支予算書  
・平成 24 年度事業報告書及び決算報告書  
・平成 24 年度経営改善計画実績状況報告書

#### <第3回理事会>

- 日 時 : 平成 26 年 3 月 27 日 (木)  
場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)  
出席者数 : 理事 8 人 監事 2 人  
議 事 : (第 1 号議案) 平成 26 年度事業計画書  
(第 2 号議案) 平成 26 年度収支予算書  
報告事項 : ・平成 25 年度第 2 回理事会以降の理事長及び常務理事の職務執行  
状況報告  
・専決処分事項の報告 (平成 25 年度収支補正予算書、規程の一部改  
正)  
・第 5 期経営改善計画  
・酒匂管理センターの放流水からのシアン化合物検出に対する対応

#### 4 評議員会開催状況

##### <第1回評議員会>

- 日 時 : 平成 25 年 6 月 26 日 (水)
- 場 所 : 公益財団法人神奈川県下水道公社 (平塚市)
- 出席者数 : 評議員 7 人 理事 2 人 監事 1 人
- 議 事 : (第 1 号議案) 平成 24 年度決算書類について  
(第 2 号議案) 評議員及び理事の選任について  
(第 3 号議案) 公益財団法人神奈川県下水道公社役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程の一部改正について
- 報告事項 : ・平成 24 年度事業報告書  
・平成 24 年度収支補正予算書  
・平成 25 年度事業計画書及び収支予算書  
・平成 24 年度経営改善計画実績状況報告書

#### 5 情報公開

当社は、四之宮管理センターに「情報提供コーナー」を設置し、以下に記載する各種公社情報について県民の自由閲覧に供しています。

##### <各種の公社情報 (主な提供資料) >

- ・定款
- ・役員及び評議員名簿
- ・役員及び職員名簿
- ・事業報告書
- ・事業計画及び収支予算書
- ・貸借対照表
- ・正味財産増減計算書
- ・財産目録
- ・収支計算書
- ・監査報告書
- ・役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程
- ・経営改善計画
- ・各種パンフレット類
- ・その他下水道に関する情報誌 等



# 平成25年度 貸借対照表

〔 平成26年3月31日現在 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

## 貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,042,137,166	821,830,635	220,306,531
未収金	12,352,201	12,207,375	144,826
立替金	31,514	33,718	△ 2,204
流動資産合計	1,054,520,881	834,071,728	220,449,153
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	109,958,000	109,958,000	0
普通預金	42,000	42,000	0
基本財産合計	110,000,000	110,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	501,197,025	447,699,217	53,497,808
特定資産合計	501,197,025	447,699,217	53,497,808
(3) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	611,197,025	557,699,217	53,497,808
資産合計	1,665,717,906	1,391,770,945	273,946,961
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	1,023,709,195	798,247,226	225,461,969
預り金	5,998,132	12,959,936	△ 6,961,804
流動負債合計	1,029,707,327	811,207,162	218,500,165
2. 固定負債			
退職給付引当金	501,197,025	447,699,217	53,497,808
固定負債合計	501,197,025	447,699,217	53,497,808
負債合計	1,530,904,352	1,258,906,379	271,997,973
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
寄付金	110,000,000	110,000,000	0
指定正味財産合計	110,000,000	110,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(110,000,000)	(110,000,000)	(0)
2. 一般正味財産	24,813,554	22,864,566	1,948,988
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	0
正味財産合計	134,813,554	132,864,566	1,948,988
負債及び正味財産合計	1,665,717,906	1,391,770,945	273,946,961

貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					共 通	小 計	法人会計	内部取 引消去	合 計
	受託事業			自主事業						
	相模川流域下水 処理維持管理事業	箱根川流域下水 処理維持管理事業	公共下水道水 質調査事業	下水道知識普 及啓発事業	汚水・汚泥処理技術 調査研究事業					
<b>I 資産の部</b>										
1. 流動資産										
現金預金	858,722,502	169,099,388	1,631,360	7,224	0		1,029,460,474	12,676,692		1,042,137,166
未収金			12,352,201				12,352,201			12,352,201
立替金	31,514						31,514			31,514
流動資産合計	858,754,016	169,099,388	13,983,561	7,224	0	0	1,041,844,189	12,676,692	0	1,054,520,881
2. 固定資産										0
(1)基本財産										0
投資有価証券								109,958,000		109,958,000
普通預金								42,000		42,000
基本財産合計	0	0	0	0	0	0	0	110,000,000	0	110,000,000
(2)特定資産										
退職給付引当資産								501,197,025		501,197,025
特定資産合計	0	0	0	0	0	0	0	501,197,025	0	501,197,025
(3)その他固定資産										
その他固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
固定資産合計	0	0	0	0	0	0	0	611,197,025	0	611,197,025
資産合計	858,754,016	169,099,388	13,983,561	7,224	0	0	1,041,844,189	623,873,717	0	1,665,717,906
<b>II 負債の部</b>										
1. 流動負債										
未払金	854,205,627	167,854,328	1,430,327	7,224	0	0	1,023,497,506	211,689		1,023,709,195
預り金	4,514,671	1,245,060	201,033	0	0	0	5,960,764	37,368		5,998,132
流動負債合計	858,720,298	169,099,388	1,631,360	7,224	0	0	1,029,458,270	249,057	0	1,029,707,327
2. 固定負債										
退職給付引当金								501,197,025		501,197,025
固定負債合計	0	0	0	0	0	0	0	501,197,025	0	501,197,025
負債合計	858,720,298	169,099,388	1,631,360	7,224	0	0	1,029,458,270	501,446,082	0	1,530,904,352
<b>III 正味財産の部</b>										
1. 指定正味財産										
寄付金								110,000,000		110,000,000
指定正味財産合計	0	0	0	0	0	0	0	110,000,000	0	110,000,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(110,000,000)	(0)	(110,000,000)
2. 一般正味財産	33,718	0	12,352,201	0	0	0	12,385,919	12,427,635	0	24,813,554
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	33,718	0	12,352,201	0	0	0	12,385,919	122,427,535	0	134,813,554
負債及び正味財産合計	858,754,016	169,099,388	13,983,561	7,224	0	0	1,041,844,189	623,873,717	0	1,665,717,906

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券……個別法による原価法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

##### ・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付会計における退職給付債務の 期末要支給額(578,760,547)に対する引当金については、次のとおり費用処理する。

##### ・退職給付会計の導入に伴う会計基準変更時差異の取扱い

会計基準変更時差異(144,046,546円)は、13年による定額法により平成20年度から、費用処理することとしている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	109,958,000	0	0	109,958,000
普通預金	42,000	0	0	42,000
小 計	110,000,000	0	0	110,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
小 計	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
合 計	557,699,217	53,497,808	0	611,197,025

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	109,958,000	(109,958,000)	(0)	-
普通預金	42,000	(42,000)	(0)	-
小 計	110,000,000	(110,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	501,197,025	-	-	(501,197,025)
小 計	501,197,025	(0)	(0)	(501,197,025)
合 計	611,197,025	(110,000,000)	(0)	(501,197,025)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
県債			
神奈川県第174回公募公債	59,958,000	62,802,000	2,844,000
神奈川県第199回公募公債	50,000,000	50,960,000	960,000
神奈川県第161回公募公債	139,902,000	148,372,000	8,470,000
神奈川県第184回公募公債	199,820,000	208,800,000	8,980,000
神奈川県第51回公募公債	49,995,000	50,200,000	205,000
合 計	499,675,000	521,134,000	21,459,000

## 附 属 明 細 書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	109,958,000	0	0	109,958,000
	普通預金	42,000	0	0	42,000
	基本財産計	110,000,000	0	0	110,000,000
特定資産	退職給付引当資産	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
	特定資産計	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	447,699,217	53,497,808	0	0	501,197,025

# 平成25年度 正味財産増減計算書

〔 平成25年4月 1日から  
平成26年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

# 正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1. 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	903,647	822,008	81,639
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	4,378,000	4,353,271	24,729
③ 受取補助金等			
相模川流域下水道維持管理事業受託収益	6,007,628,455	5,669,002,227	338,626,228
酒匂川流域下水道維持管理事業受託収益	1,582,235,870	1,385,364,024	196,871,846
公共下水道水質調査事業受託収益	33,416,944	33,232,185	184,759
④ 雑収益			
雑収益	2,001,755	2,055,066	△ 53,311
経常収益計	7,630,564,671	7,094,828,781	535,735,890
(2) 経常費用			
① 事業費			
相模川流域下水道維持管理事業費	6,007,628,455	5,669,002,227	338,626,228
酒匂川流域下水道維持管理事業費	1,582,235,870	1,385,364,024	196,871,846
公共下水道水質調査事業費	33,416,944	33,232,185	184,759
下水道知識普及啓発費	2,865,278	2,450,081	415,197
污水・汚泥処理技術調査研究費	150,205	198,375	△ 48,170
② 管理費			
管理費	2,318,931	1,982,369	336,562
経常費用計	7,628,615,683	7,092,229,261	536,386,422
当期経常増減額	1,948,988	2,599,520	△ 650,532
<b>2. 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

科 目	平成25年度	平成24年度	増 減
当期一般正味財産増減額	1,948,988	2,599,520	△ 650,532
一般正味財産期首残高	22,864,566	20,265,046	2,599,520
一般正味財産期末残高	24,813,554	22,864,566	1,948,988
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,000,000	110,000,000	0
指定正味財産期末残高	110,000,000	110,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>134,813,554</b>	<b>132,864,566</b>	<b>1,948,988</b>

# 正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計					共 通	小 計	法人会計	内部取引消去	合 計
	受託事業			自主事業						
	相模川流域下水道維持管理事業	酒匂川流域下水道維持管理事業	公共下水道水質調査事業	下水道知識普及啓蒙事業	海水・河川環境維持調査事業					
<b>I 一般正味財産増減の部</b>										
<b>1. 経常増減の部</b>										
<b>(1) 経常収益</b>										
① 基本財産運用益				903,647	0		903,647			903,647
基本財産受取利息				903,647			903,647			903,647
② 特定資産運用益	0	0	0	1,961,631	150,205	0	2,111,836	2,266,164		4,378,000
特定資産受取利息				1,961,631	150,205		2,111,836	2,266,164		4,378,000
③ 受取補助金等	6,007,628,455	1,582,235,870	33,416,944				7,623,281,269			7,623,281,269
相模川流域下水道維持管理事業受託収益	6,007,628,455						6,007,628,455			6,007,628,455
酒匂川流域下水道維持管理事業受託収益		1,582,235,870					1,582,235,870			1,582,235,870
公共下水道水質調査事業受託収益			33,416,944				33,416,944			33,416,944
④ 雑収益	0	0	0	0	0	0	0	2,001,755		2,001,755
雑収益							0	2,001,755		2,001,755
経常収益計	6,007,628,455	1,582,235,870	33,416,944	2,865,278	150,205	0	7,626,296,752	4,267,919		7,630,564,671
<b>(2) 経常費用</b>										
① 事業費	6,007,628,455	1,582,235,870	33,416,944	2,865,278	150,205		7,626,296,752			7,626,296,752
役員報酬	14,396,834	1,601,758					15,998,592			15,998,592
給料手当	266,715,896	60,985,782	14,012,803				381,714,471			381,714,471
退職給付費用	38,244,975	13,362,702	1,843,131				53,450,808			53,450,808
報酬	13,278,285						13,278,285			13,278,285
福利厚生費	49,362,238	12,819,929	2,329,191				64,511,358			64,511,358
賃金	19,508,627	16,673,346	1,999,656				38,181,629			38,181,629
報償費	0	64,000		191,000			255,000			255,000
旅費交通費	1,041,895	191,578	24,180				1,257,653			1,257,653
需用費	2,139,181,770	377,465,641	6,074,534	2,409,338	136,605		2,525,267,888			2,525,267,888
役務費	116,251,708	17,357,438	1,247,383		13,600		134,870,129			134,870,129
保険料	407,520	186,580	106,510				700,620			700,620
委託料	1,282,994,492	511,342,176					1,794,336,668			1,794,336,668
賃借料	53,977,660	8,179,102	3,880,522	253,990			66,291,274			66,291,274
維持修繕費	1,966,416,541	535,024,459	893,970				2,502,334,970			2,502,334,970
什器備品費	4,192,230	661,500					4,853,730			4,853,730
負担金	686,430	47,770	8,925				743,125			743,125
租税公課	20,848,915	6,210,873	992,667				28,052,655			28,052,655
雑費	122,449	61,226	3,272	10,950			197,897			197,897
② 管理費								2,318,931		2,318,931
役員報酬								19,000		19,000
給料手当								344,000		344,000
退職給付費用								47,000		47,000
福利厚生費								105,750		105,750
報償費								897,000		897,000
旅費交通費								13,900		13,900
交際費								10,000		10,000
需用費								111,640		111,640
役務費								109,118		109,118
会議費										0
賃借料								3,675		3,675
維持修繕費										0
負担金								608,800		608,800
雑費								49,048		49,048
経常費用計	6,007,628,455	1,582,235,870	33,416,944	2,865,278	150,205	0	7,626,296,752	2,318,931		7,628,615,683
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	1,948,988		1,948,988

科 目	公益目的事業会計					共 通	小 計	法人会計	内部取引消去	合 計
	受託事業			自主事業						
	河内川流域下水道 維持管理事業	河内川流域下水道 維持管理事業	公共下水道水 質調査事業	下水道知識普及 啓蒙事業	排水・汚泥処理技術 調査研究事業					
2. 経常外増減の部										
(1) 経常外収益										
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用										
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	1,948,988		1,948,988
一般正味財産期首残高								22,864,566		22,864,566
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	24,813,554		24,813,554
II 指定正味財産増減の部										
当期指定正味財産増減額								0		0
指定正味財産期首残高								110,000,000		110,000,000
指定正味財産期末残高								110,000,000		110,000,000
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	134,813,554		134,813,554

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 …… 個別法による原価法によっている。

#### (2) 引当金の計上基準

##### ・退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付見込額に基づき、当期末において発生していると認められる額を計上している。

なお、退職給付会計における退職給付債務の 期末要支給額(578,760,547)に対する引当金については、次のとおり費用処理する。

##### ・退職給付会計の導入に伴う会計基準変更時差異の取扱い

会計基準変更時差異(144,046,546円)は、13年による定額法により平成20年度から、費用処理することとしている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	109,958,000	0	0	109,958,000
普通預金	42,000	0	0	42,000
小 計	110,000,000	0	0	110,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
小 計	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
合 計	557,699,217	53,497,808	0	611,197,025

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	109,958,000	(109,958,000)	(0)	-
普通預金	42,000	(42,000)	(0)	-
小 計	110,000,000	(110,000,000)	(0)	-
特定資産				
退職給付引当資産	501,197,025	-	-	(501,197,025)
小 計	501,197,025	(0)	(0)	(501,197,025)
合 計	611,197,025	(110,000,000)	(0)	(501,197,025)

4 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評価損益
県債			
神奈川県第174回公募公債	59,958,000	62,802,000	2,844,000
神奈川県第199回公募公債	50,000,000	50,960,000	960,000
神奈川県第161回公募公債	139,902,000	148,372,000	8,470,000
神奈川県第184回公募公債	199,820,000	208,800,000	8,980,000
神奈川県第51回公募公債	49,995,000	50,200,000	205,000
合 計	499,675,000	521,134,000	21,459,000

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価証券	109,958,000	0	0	109,958,000
	普通預金	42,000	0	0	42,000
	基本財産計	110,000,000	0	0	110,000,000
特定資産	退職給付引当資産	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025
	特定資産計	447,699,217	53,497,808	0	501,197,025

### 2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	447,699,217	53,497,808	0	0	501,197,025

# 平成25年度 財産目録

〔 平成26年3月31日現在 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

# 財 産 目 録

平成 26 年 3 月 31 日 現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額	
(流動資産)					
	現金預金	普通預金 横浜銀行平塚支店	運転資金として	1,042,137,166	
	未収金	流域市町	公共下水道水質調査事業受託収入	12,352,201	
	立替金	県流域下水道整備事務所等	事務所等光熱水費	31,514	
流動資産合計				1,054,520,881	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	神奈川県174回公募公債 横浜銀行平塚支店	公益目的保有財産であり、自主事業の財源として使用している。	59,958,000	
		神奈川県199回公募公債 スルガ銀行平塚支店		50,000,000	
	普通預金	横浜銀行平塚支店		42,000	
基本財産合計				110,000,000	
特定資産	退職給付引当資産	神奈川県161回公募公債 横浜銀行平塚支店	運用益を自主事業及び法人会計の財源として使用している。	139,902,000	
		神奈川県184回公募公債 スルガ銀行平塚支店		199,820,000	
		神奈川県51回公募公債 スルガ銀行平塚支店		49,995,000	
		普通預金 スルガ銀行平塚支店		111,480,025	
特定資産合計				501,197,025	
その他固定資産				0	
固定資産合計				611,197,025	
資産合計				1,665,717,906	
(流動負債)					
	未払金	相模川流域下水道維持管理事業費 酒匂川流域下水道維持管理事業費 公共下水道水質調査事業費 下水道知識普及啓発費 管理費	各事業に供する委託料・工事費等の未払分	773,432,082	
		相模川流域下水道事業精算還付金 酒匂川流域下水道事業精算還付金		委託料に対する精算還付金として	80,773,545
					46,207,130
					1,023,709,195
					5,998,132
未払金合計				1,023,709,195	
	預り金		源泉所得税等	5,998,132	
流動負債合計				1,029,707,327	
(固定負債)					
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員52名に対する退職金の支払いに備えたもの	501,197,025	
固定負債合計				501,197,025	
負債合計				1,530,904,352	
正味財産				134,813,554	

# 平成25年度収支計算書

〔 平成25年4月 1日から  
平成26年3月31日まで 〕

公益財団法人 神奈川県下水道公社

# 収 支 計 算 書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	959,000	903,647	55,353
基本財産受取利息	959,000	903,647	55,353
② 特定資産運用益	4,378,000	4,378,000	0
特定資産受取利息	4,378,000	4,378,000	0
③ 受取補助金等	7,981,356,000	7,623,281,269	358,074,731
相模川流域下水道維持管理事業受託収益	6,226,765,000	6,007,628,455	219,136,545
酒匂川流域下水道維持管理事業受託収益	1,719,191,000	1,582,235,870	136,955,130
公共下水道水質調査事業受託収益	35,400,000	33,416,944	1,983,056
④ 雑収益	1,685,000	2,001,755	△ 316,755
雑収益	1,685,000	2,001,755	△ 316,755
経常収益計	7,988,378,000	7,630,564,671	357,813,329
(2) 経常費用			
① 事業費	7,985,140,000	7,626,296,752	358,843,248
相模川流域下水道維持管理事業費	6,226,765,000	6,007,628,455	219,136,545
酒匂川流域下水道維持管理事業費	1,719,191,000	1,582,235,870	136,955,130
公共下水道水質調査事業費	35,400,000	33,416,944	1,983,056
下水道知識普及啓発費	3,554,000	2,865,278	688,722
汚水・汚泥処理技術調査研究費	230,000	150,205	79,795
② 管理費	3,238,000	2,318,931	919,069
管理費	3,238,000	2,318,931	919,069
経常費用計	7,988,378,000	7,628,615,683	359,762,317
当期経常増減額	0	1,948,988	△ 1,948,988
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	1,948,988	△ 1,948,988
一般正味財産期首残高	22,865,000	22,864,566	434
一般正味財産期末残高	22,865,000	24,813,554	△ 1,948,554
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	110,000,000	110,000,000	0
指定正味財産期末残高	110,000,000	110,000,000	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	132,865,000	134,813,554	△ 1,948,554